

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2023年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株																
工期	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		作成者	鈴木 悠平																
作業名称	凍結防止剤抑制シート部分撤去	作業手順書	作成年月日	令和3年4月16日																
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	2tトラック、連絡者		改正年月日																	
			現場責任者																	
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	電動ドリル、パール、ニッパー、結束バンド、スコップ、土嚢袋、ハサミ、		協力会社	会社名 -																
	草刈鎌、脚立、ロープ、石頭ハンマー		協力会社責任者	自筆サイン -																
保護具	ヘルメット、切創手袋、保護メガネ、親綱、安全带		作業順序 <table border="1"> <tr><td>1</td><td>現地確認</td></tr> <tr><td>2</td><td>準備作業</td></tr> <tr><td>3</td><td>狸返し撤去</td></tr> <tr><td>4</td><td>接続部品取替え</td></tr> <tr><td>5</td><td>狸返し設置</td></tr> <tr><td>6</td><td>後片付け</td></tr> <tr><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td></tr> </table>		1	現地確認	2	準備作業	3	狸返し撤去	4	接続部品取替え	5	狸返し設置	6	後片付け	7		8	
1	現地確認																			
2	準備作業																			
3	狸返し撤去																			
4	接続部品取替え																			
5	狸返し設置																			
6	後片付け																			
7																				
8																				
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証 振動工具																			
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 2人、保安員 1人																			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	周知会実施日 令和2年12月1日																			
	合計 3名																			
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自筆サインする)																			

可能性	リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者			
		○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う				○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×				○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×				○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
×	×○	×△	××	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認				
	×	×	×	××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要				

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検・工具の確認・積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 <b>工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。</b> 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 <b>車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。</b>							
作業現場入場 (責任者、作業員)	立入防止柵に扉がない場合、脚立を使用し、立入防止柵を乗り越える。	脚立固定	脚立使用時に脚立が外れ、転倒する。	△	×	△×	4		ロープを使用し脚立を固定する。
安全帯の設置 (責任者、作業員)	Gr支柱に親綱を取り付ける。	親綱のゆるみ注意	親綱が外れのり面から転落する。	△	×	△×	4		親綱のほつれや、結び目をチェックする。
	安全帯を装着し、親綱に安全帯を引っかける。	安全帯の装着	安全帯が外れのり面から転落する。	△	△	△×	4		安全帯を腰の位置でしっかりと装着する。
シート、ネット撤去 (責任者、作業員)	破損しているシートをはさみ等を使用し、撤去する。	手元注意	ハサミで指を切る	×	○	×○	3		切創手袋を着用し手元を確認して作業する。
	破損しているネットは端部のインシュロックをニッパー等を使用し、撤去する。	手元注意	ニッパーで指を切る	×	○	×○	3		切創手袋を着用し手元を確認して作業する。
シート端部処理 (責任者、作業員)	シートの端部が風でめくりあがらないようスコップを使用し、端部を土に埋める。	上下作業注意	のり面上部で作業している人、物等が滑って、下部の人と接触する。	△	×	△×	4		上下作業は行わず。左右の間隔を取り作業する。
シート飛散養生 (責任者、作業員)	法面の排水溝に電動ドリルを使用しアイボルトを設置する。	手元、足元注意	ドリルで足ケガする。	×	○	×○	3		削孔位置を確認し作業する。
	アイボルトにロープを取付け、ロープと土嚢を結びシートの上に設置する。	上下作業注意	のり面上部で作業している人、物等が滑って、下部の人と接触する。	△	×	△×	4		上下作業は行わず。左右の間隔を取り作業する。
後片付け (責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							
作業現場退場 (責任者、作業員)	立入防止柵に扉がない場合、脚立を使用し、立入防止柵を乗り越える。	脚立固定	脚立使用時に脚立が外れ、転倒する。	△	×	△×	4		ロープを使用し脚立を固定する。
									工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事